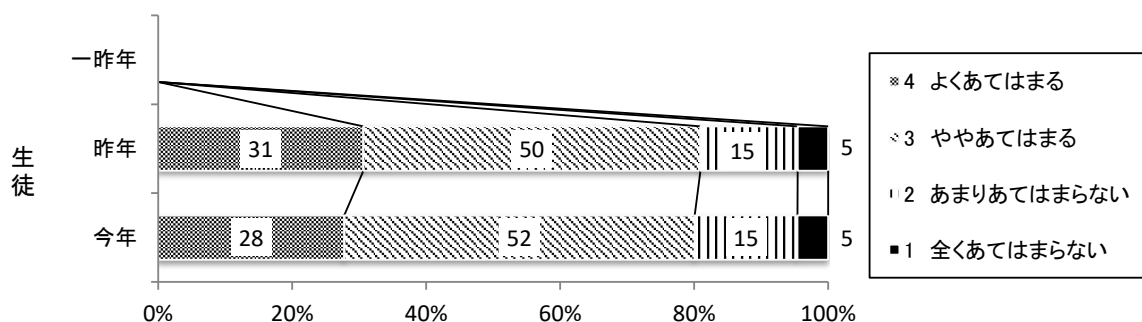
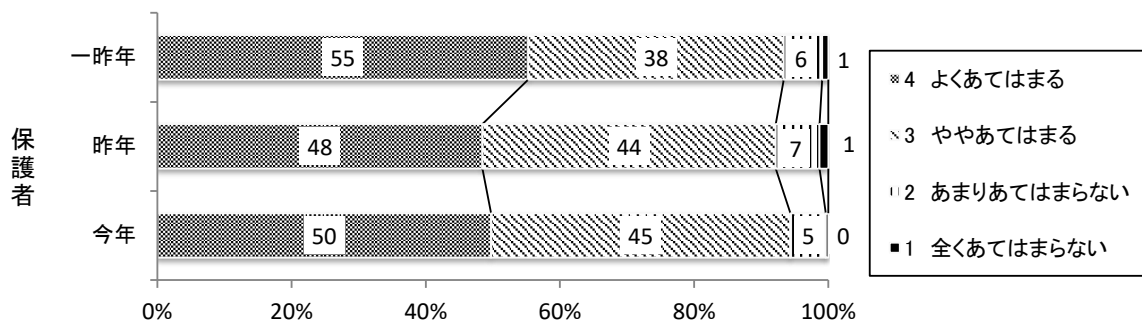


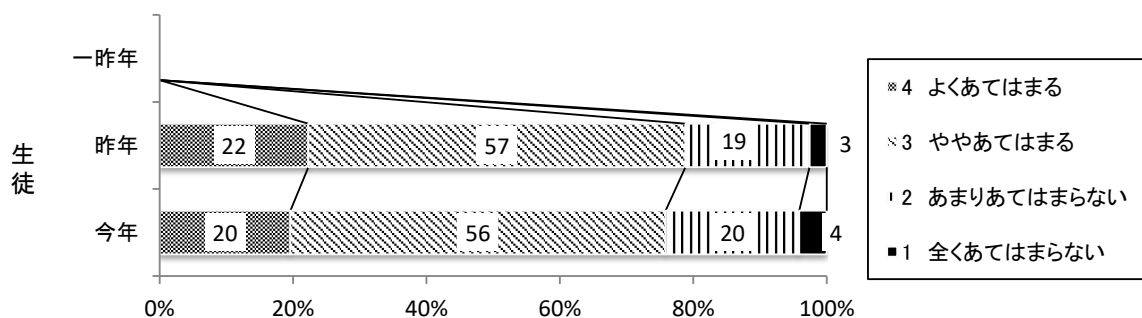
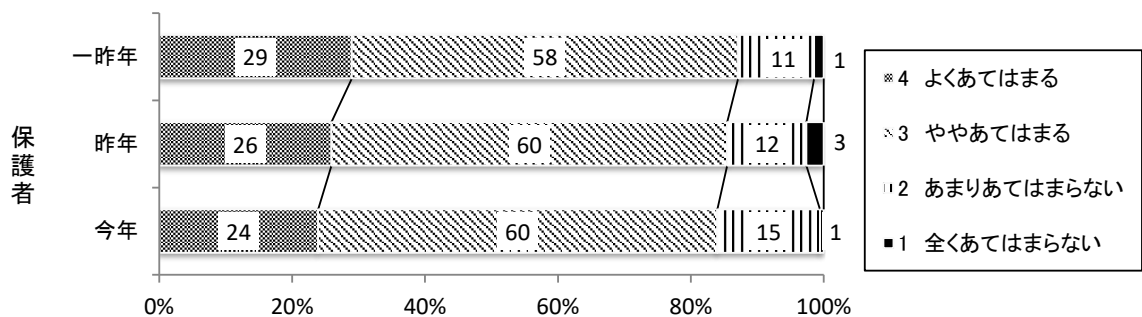
1 学校評価（保護者・生徒） 結果分析 【グラフ内の数値は割合（%）】

（1）3年間の比較 ※令和2年度までの調査対象は「保護者と生徒」。令和3年度から「保護者」と「生徒」を分けて調査。

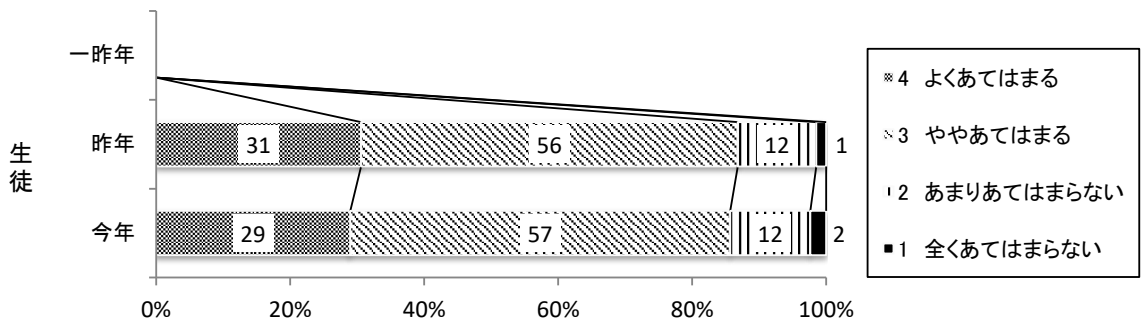
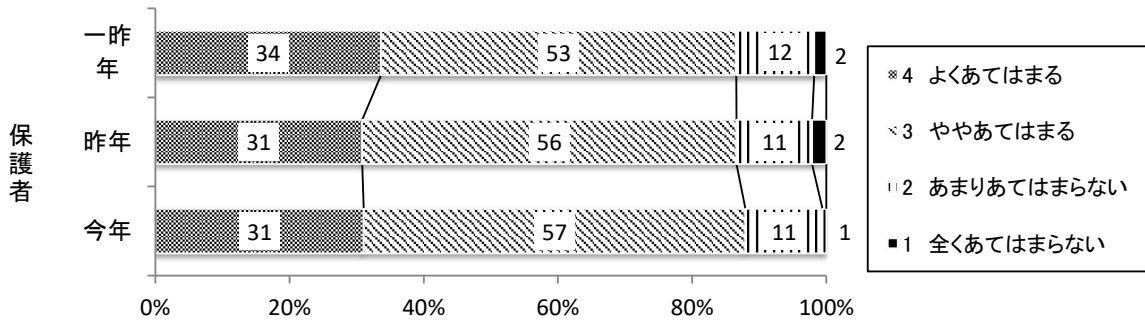
① 鹿児島中央高校に入学させて（入学して）、よかった。
 ⇒ 3年間を通して「よくあてはまる」、「ややあてはまる」を合わせて90%以上の評価である。「あまりあてはまらない」、「全くあてはまらない」の評価も生徒を中心にややみられるので、更に多くの保護者・生徒に、「鹿児島中央高校に入学してよかった」と思われるよう、本校へのニーズを把握し、それに応えていく取り組みが必要である。



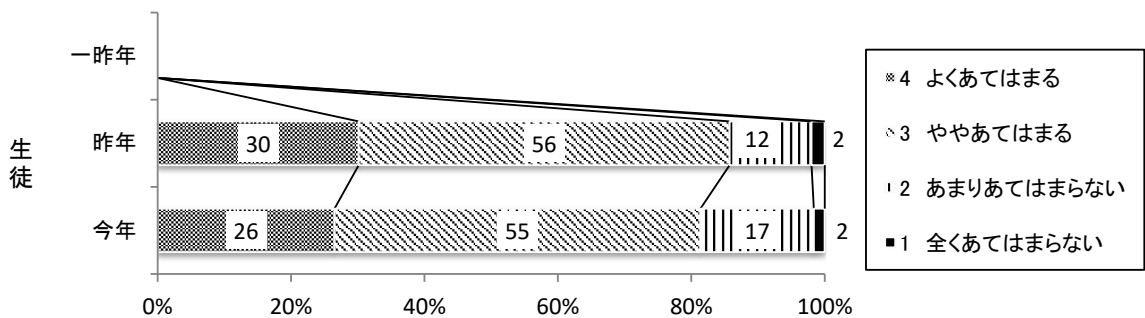
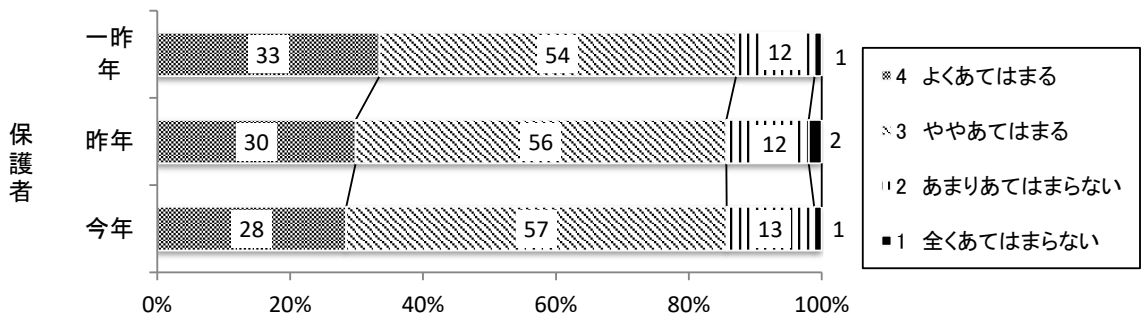
② 鹿児島中央高校は、生徒の個性や学力を伸ばすための教育活動を展開している。
 ⇒ 全体的に良い評価を得ている一方で、わずかではあるが、年々「4 よくあてはまる」が減少し、否定的な評価が増加している。保護者・生徒に、学校側の思いや取り組みの内容がうまく届けられていない可能性があるため、学校での教育活動を知る機会や方法を検討する必要がある。



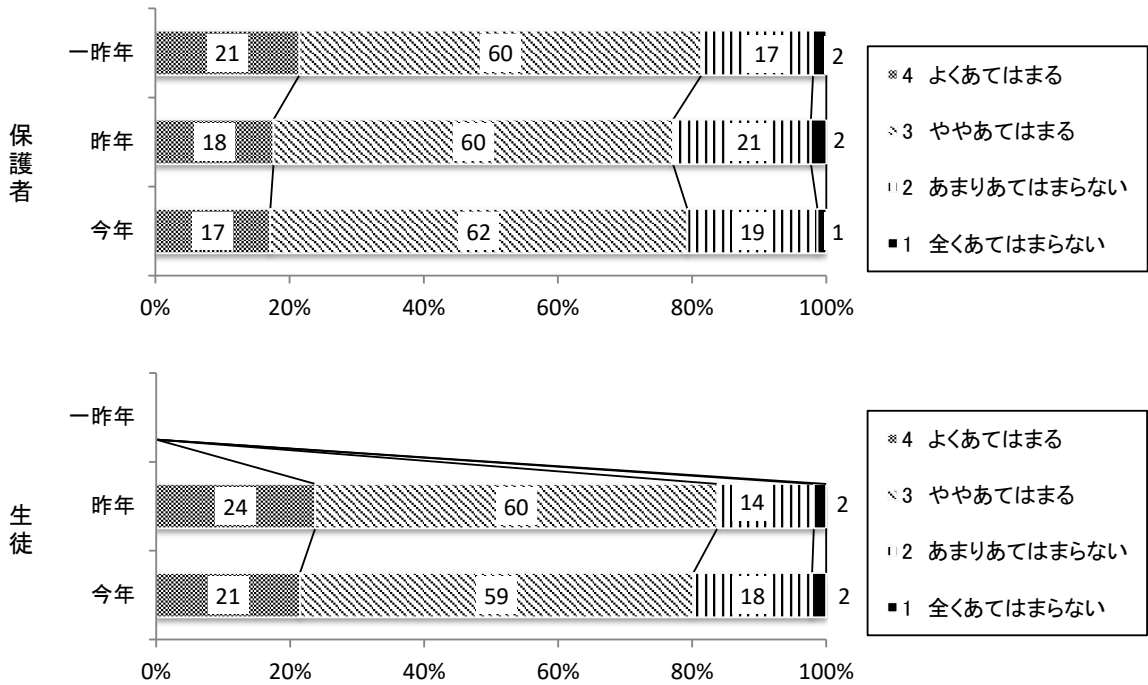
- ③ 鹿児島中央高校は、生徒一人ひとりの進路目標達成のための適切な進路指導を行っている。
 ⇒ 全体的に肯定的な評価が多い。保護者・生徒の進路に対する視野を拡大させていくための取り組みは今後も継続が必要である。



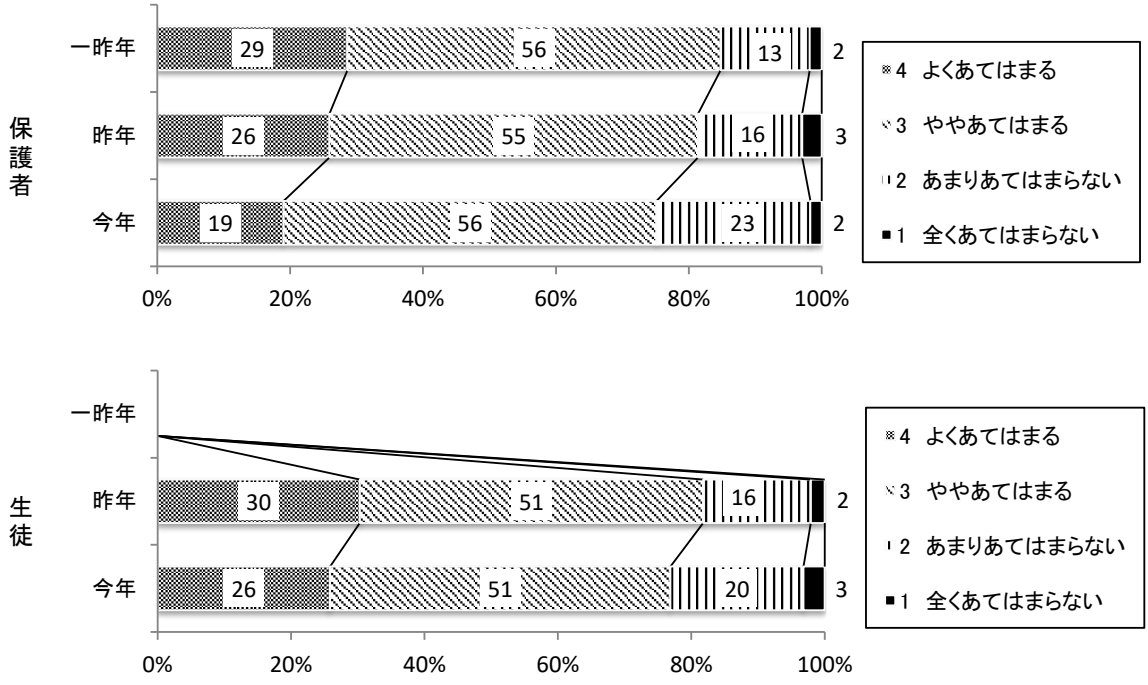
- ④ 鹿児島中央高校は、生徒が学習活動（授業・自宅学習）に熱心に取り組む指導をしている。
 ⇒ ②・③の項目と同様に「4 よくあてはまる」の割合が年々減少している。授業改善を進めつつ、生徒の自宅での学習の内容や方法に対しても、さまざまな角度から再検討を行い、きめ細かい指導を行う必要がある。



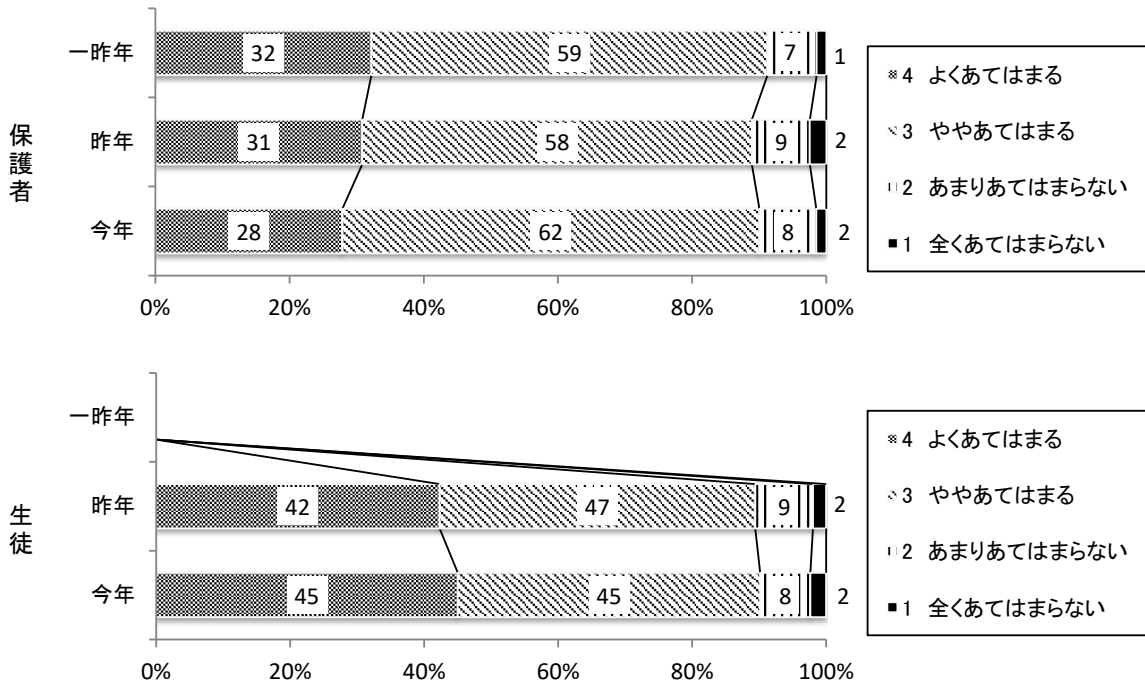
⑤ 鹿児島中央高校の授業は分かりやすく、学力をつけるための工夫がなされている。
 ⇒ ②・③・④の項目と同様に「4 よくあてはまる」の割合が年々減少しているが、特に、生徒による評価において、否定的な評価のポイントの増加がみられる。授業改善を通して、授業で学習した内容を生徒が理解できたと実感する工夫を重ねることが必要である。



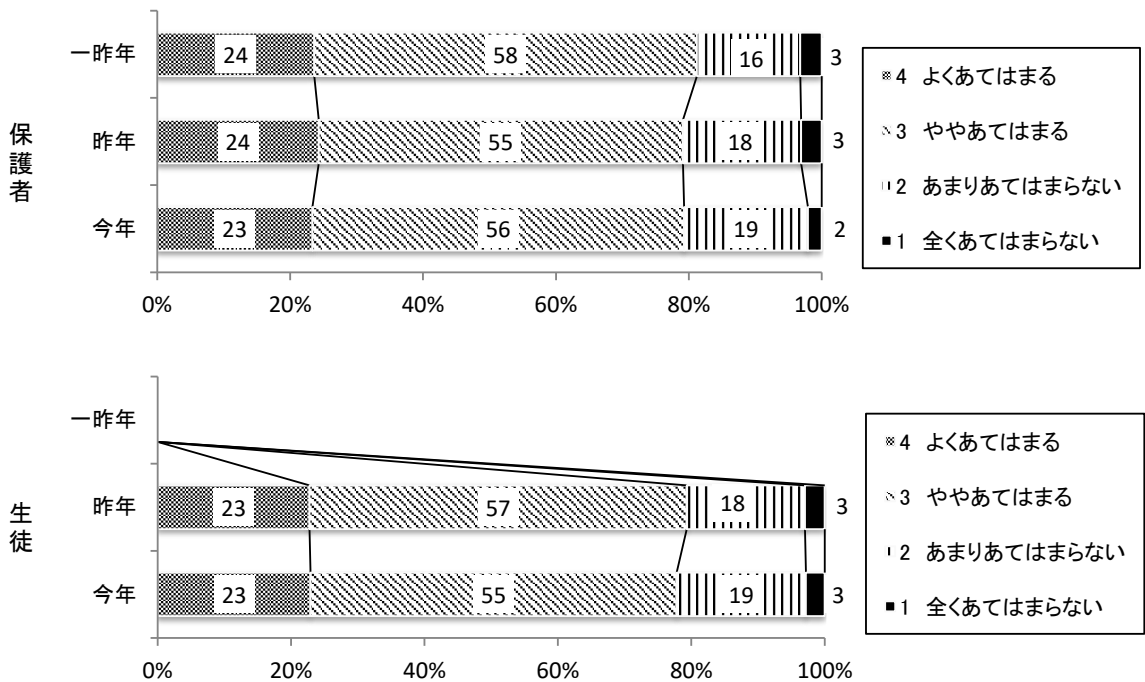
⑥ 鹿児島中央高校は、学校の情報を積極的に家庭や地域へ発信している。
 ⇒ 特に保護者の評価において、「4 よくあてはまる」の減少と、否定的な評価が増加が顕著である。小中学校ではさまざまな形で学校の情報の提供が行われており、高校とのギャップが評価につながっているのではないかと。さまざまな情報発信の方法の検討を行い、ニーズに応じていく必要がある。



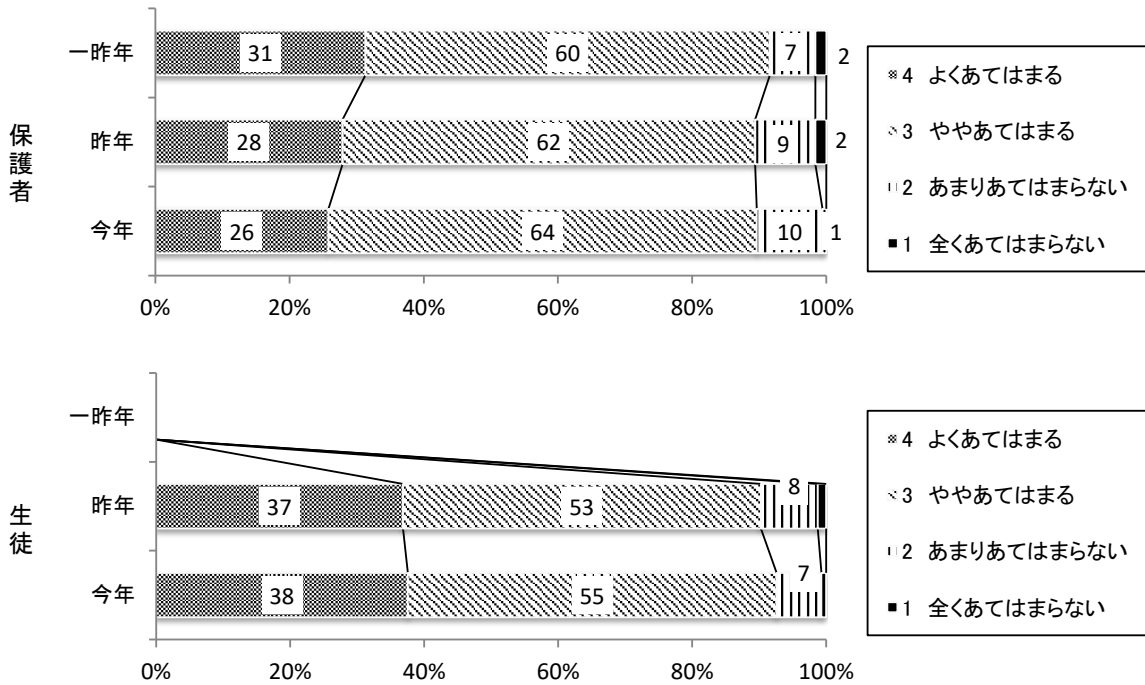
⑦ 鹿児島中央高校は、校則や交通ルールなどの規範意識を高める指導をしている。
 ⇒ 全体的に肯定的な評価が多い。保護者による「4 よくあてはまる」の評価が年々減少しているものの、生徒による同じ評価は増加傾向にある。校則については、今後も規定の必要性を検討した上で合理的な説明を保護者や生徒に行い、指導への理解を得る必要がある。



⑧ 鹿児島中央高校には、生徒や保護者が相談しやすい雰囲気がある。
 ⇒ 他の項目に比較すると、「4 よくあてはまる」のポイントが全体的に低い。生徒が学びやすい環境を整えるためにも、日頃から生徒・保護者とコミュニケーションを行う機会を設けるとともに、相談しやすくする体制などをつくる工夫が必要である。



⑨ 鹿児島中央高校は、生徒の生命や安全を守る取り組みを適切に行っている。
 ⇒ 全体的に肯定的な評価が多いが、若干ではあるが、特に保護者において年々「4 よくあてはまる」のポイントが減少している。⑥・⑦・⑧の項目と関連して、生徒への指導はもちろん、保護者への情報発信もきめ細やかに行う必要がある。



⑩ 鹿児島中央高校は、生徒にとって学びやすい環境を整えるために、施設の整備に取り組んでいる。
 ⇒ 全体的に肯定的な評価が多い。保護者・生徒の施設面への満足度は高いようである。

